

No.
66

の**情報**

ごみ ステーション！

問環境センター ☎ (23) 0022

指定ごみ袋が、残り少なくなっていないか？

夏から秋にかけては、草刈りや家庭菜園のごみが増えます。いざ、ごみを出すときに「袋がない！」と慌てないよう、指定ごみ袋の残量は定期的に確認し、余裕をもって買い足しておきましょう。



▲約1トンの容量があるフレコンバッグ

ごみを直接 持込む方へ

環境センターへ直接ごみを持込む際、機械の故障や詰まりを防ぐために、70リットル以下の袋を使用するようにお願いしていますが、例外として引越しや家の片付けなどでごみが大量に出る場合は、フレコンバッグ（トン袋）などを使用して持込むことができます。

ただし、次の点に注意願います。

- ▼分別されていること。
- ▼係員が、袋の中を確認できる状態であること。
- ▼ご自身でごみを降ろすこと。

※守られない場合は、搬入をお断りします。

使用済みペンを 回収しています

本年4月から回収している使用済みペンは、市民の皆様のおかげで、現在まで7.5kg回収することができました。

回収したペンは、さまざまな素材へリサイクルされます。

引き続き、ごみの減量化にご協力をお願いします。



▲使用済みペン回収箱

粗大ごみ収集の 申込みについて

粗大ごみ収集の申込み締切は、収集日の1週間前までです。

締切前であれば、いつでも申込みできますが、駆け込みでの申込みは電話が混み合う原因となりますので、時間的余裕をもって申込みをお願いします。

なお、アプリからも申込みできますので、ぜひご活用ください。

異物がないか 確認しましょう

「缶」や「ペットボトル」の中に、飲み残しやたばこの吸い殻などの異物が入っている場合があります。

異物が入っていると、リサイクルに支障がありますので、ごみに出す前に一度何も入っていないことを確認しましょう。

有害・危険ごみは 混ぜないで！

収集した一般ごみの中に、モバイルバッテリーなどの電池が混ざっていることがあります。

これらは、収集・処理作業の際に火災や爆発事故につながる恐れがあり、大変危険です。

電池類の有害ごみや、電子たばこなどの危険ごみは、他のごみとは分けて、透明か半透明の袋で一般ごみの日に出してください。



▲処理作業中に発火した電子たばこ（バッテリー付）